



BETHEL通信

2023年2月号（第235号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

40年の歩みを振り返って

当院は、2022年度が開設から40年となります。開設40周年記念誌の発行にあたり現在準備をしています。記念誌の発行は、看護部の営みを振り返る良い機会となりました。

私が就職したのは開設から4年目でした。その頃から現在の土壌はあり随分仕事のしやすい職場だと感じました。病棟や外来から訪問診察に同行しその後訪問看護を行ったり、外来では手術が週に2日。内視鏡検査も1日に3～4件行われました。総合病院での経験がない私にとって沢山のことを経験させていただく良い機会となりました。ほかの職員も同じだったと思います。印象的で、今でも役に立っている事のひとつに、心療内科での診察介助があります。当時の院長であった森秀人先生が、患者さまやご家族に行うカウンセリングを聞きながら随分自身の生活にも置き換え、学びとなりました。行き詰った時に自分を立て直す術を覚えました。その頃病院は、在宅にも力を入れ始め訪問看護ステーションを開設し、後にメンバーに入れていただきました。その頃はとにかく仕事を楽しかったです。患者さまやご家族のために一生懸命出来る職場環境があり、患者さまやご家族からの感謝のお言葉もいただきました。それはまだ若い私にとって、何よりもうれしいご褒美でした。その後私は一般病棟で吉村顧問と一緒に主任として仕事をしました。救急デモンストレーションや人工呼吸器のテストをする中で自身の技量も上がりましたし、チームとしての質上げもできたと思います。緩和ケアの勉強会も仕事が終わった後に行っていました。3号館増築後に念願の緩和ケア病棟20床が出来、愛媛県内初で注目を浴びました。私は一般病棟の看護師長としてのスタートとなりました。

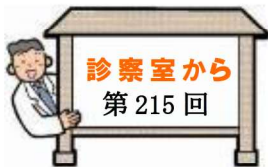
増改築は3回。現在4号館の増改後の再編成から10年となり、緩和ケア病棟は、38床となりました。また、在宅療養支援病院としての役割を果たす中で、認知症ケアは必須であり、プロジェクトチームを立ち上げ、研修に力を入れ認知症ケアの向上に力を注ぎ、認知症ケアラウンドがスタートしました。3階の一角には、コミュニティカフェ「こもれびの森」を作り、患者・家族・スタッフの交流の場としています。病棟師長として業務を行う中で、緩和ケアや障害者のケア・認知症ケアを行う上で倫理的問題に遭遇する場面が多くありました。主任会が主となり、倫理カンファレンスが定着し、医療安全においては、リスク感性を養うためにインシデントKYT（※1）の実施が定着しました。現在は、院長を中心とし、人生の最終段階を扱う病院として法人全体でACP（※2）の定着に向けて力を注いでいます。

看護部はこれからも、向井総婦長・永江看護部長・吉村看護部長3人の前任の看護部長が大切にしてきた看護部の理念の継承を確たるものとするため、常に向上心を持ち成長し続ける組織でありたいと考えます。またベテルに集う職員や患者さま・ご家族のために、「心を込めて丁寧に・・・」関わることで出来る良い職場環境を築くためにこれからも努力したいと考えています。開設40周年記念誌に職員全員のメッセージカードを作成する事になりました。私は、「安心感」としるしました。集うベテルファミリーが安心できる場所でありたいと感じたからです。

（※1）KYT…危険・予知・トレーニングの略

（※2）ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…医師等の医療従事者から十分な説明を受けた患者本人が、医療チームと十分な話し合いを繰り返し、患者本人の意思決定を基本としたうえで医療・ケアを行うこと

（看護部長 中野 民子）



植物 万 歳



人間は植物なしでは生きて行くことは出来ません。酸素の供給源として食物・エネルギー源として環境として欠かせませんし、地球上の生物全体の総重量の約95%を占めているといわれています。植物の最新研究により驚くべき事実が明らかになっています。先日TV放映されたNHKスペシャル「超進化論 特別編」の第1集「植物編」では、『植物は「音」「温度」「化学物質」「重力」等の20を超えるセンサーを持ち他の生き物にメッセージを発信する（例えば、ある種の柳は自分の葉が芋虫に食べられ始めると化学物質を分泌し、その芋虫を餌とするテントウムシを呼び寄せて食べさせ防御する）。触覚（つるが巻き付く）・味覚（食虫植物）・嗅覚等も持っている』他、いくつもの斬新な発見について放映されていました。番組中で専門家は「植物はじっと黙っているのではなくお互いに会話しているんです」と言われ、童話や映画の世界だけかと思っていた私は驚きました。



【写真1】



【写真2】

昨年12月下旬、高知平野に観測史上初の10cmを越える降雪がありました。その翌々日の雲一つない快晴に誘われ、高知市五台山にある「牧野植物園」に久しぶりに行ってみました。園内は残雪がまだかなりあり（写真1）、季節柄、楽しめる樹木・花・実等は少なかったのですが、珍しい花も見つけました（写真2）。牧野氏が出身地の佐川町で発見したとされる「梅花黄連（バイカオウレン）」も咲いておりとてもラッキーでした（少しわかりにくいですが写真3）。

展示館内も楽しく、ポスターに記されてあった最晩年の牧野氏の言葉に感銘を受けました。「私は今年94歳になった。私は幾つになっても眼が見える限り植物と共に生活をつづけるつもりでいる。私は、ふりかえって、私の生涯をみた。それは常に私の周囲をとり囲んでいた植物が、私を幸福という二字から離さなかった。そこで、私は、

この幸福を、日本中の学生諸君をはじめ、植物を愛する人々に分かちたいと思う。（中略）植物に接することは、健康的であり、美しく、楽しいものである。そして、一人でも多くの人が植物を好きになってもらいたい。私はそれを希望する。」（昭和31年11月2日 牧野 富太郎「学生版 原色植物図鑑（続 野外植物編）」より。）

皆さんも庭や鉢に何か好きな植物を植えて世話をして成長を見てみましょう。きっと、「新しい景色」を見つける筈です。



【写真3】

（ホスピス・内科医師 佐々木 徹）



後期高齢者の窓口負担割合の変更について

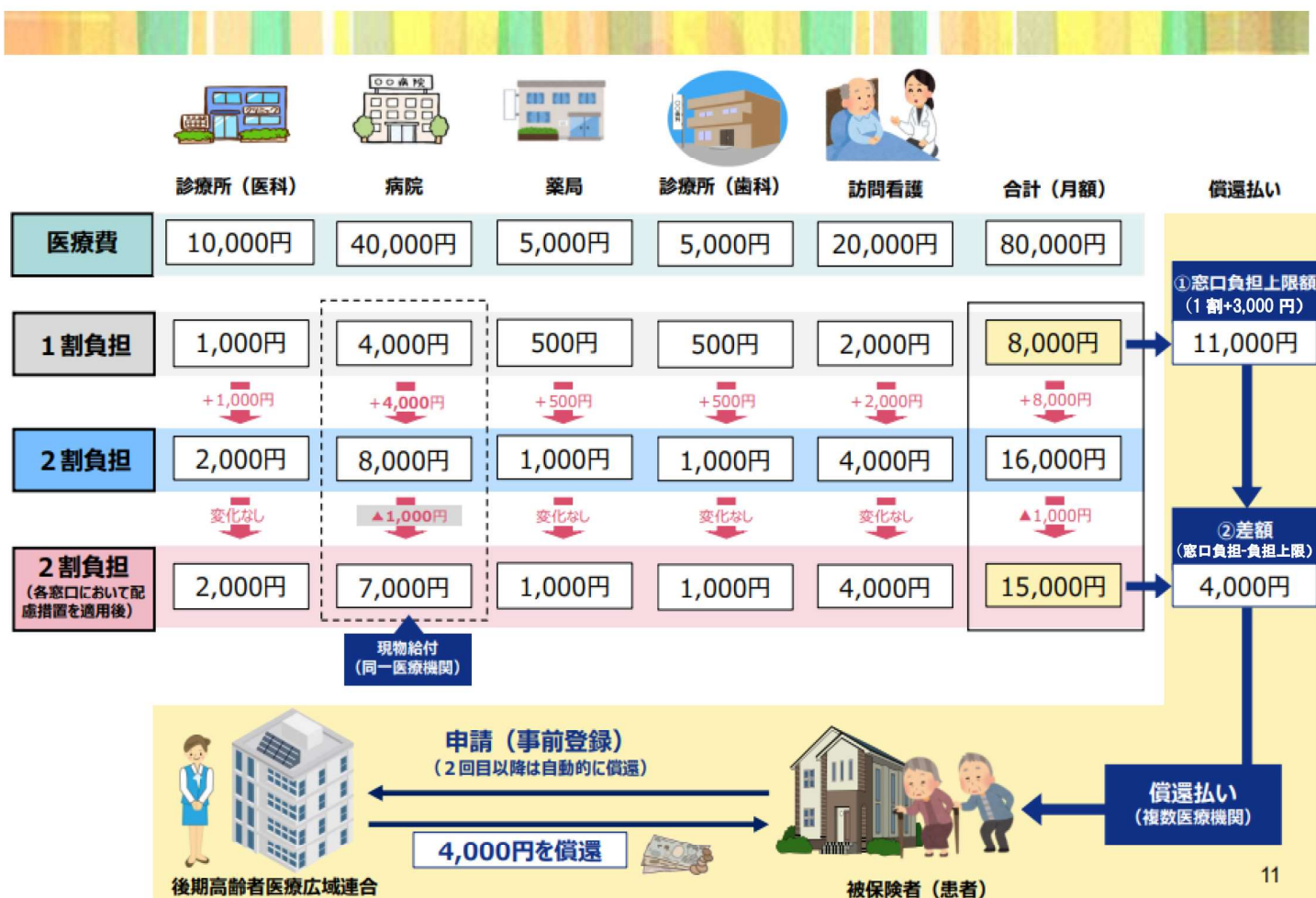
前回、75歳以上の方等で一定以上の所得がある方は、医療費の窓口負担割合が1割から2割に変更となったことを記載させていただきました。

医療費窓口負担割合が2割となる方については配慮措置として令和4年10月1日から令和7年9月30日までの間、1か月の外来医療の窓口負担割合の引き上げに伴う負担増加額を3,000円までに抑えます（入院の医療費は対象外です）。同一の医療機関・薬局等での受診については、上限額以上窓口で支払う必要はありません。（負担増加額が3,000円を超えた場合は、同月内のそれ以降の受診は1割負担になります。）そうでない場合では、1か月の負担増を3,000円までに抑えるため差額を後日高額療養費で払い戻しが行われます。

配慮措置の適用で払い戻しとなる方は、高額療養費として、事前に登録されている口座へ後日自動的に払い戻します。2割負担となる方で払い戻し先の口座が登録されていない方には、各都道府県の広域連合や市区町村から申請書が郵送されます。

医療費窓口負担割合の見直しに関するお問い合わせはお住まいの都道府県の「後期高齢者医療広域連合」または市区町村の「後期高齢者担当窓口」までお問い合わせください。

下記図は制度変更による医療費の変化の一例です。ご参照ください。



「医療相談室・地域医療連携室」では関係機関との連携をとり相談をつないでいます。
お気軽にご相談下さい。

(医療相談室 看護師 大城 佳緒里)

外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

2月8日（水）、2月22日（水）

◎多田 聡 医師（神経内科）

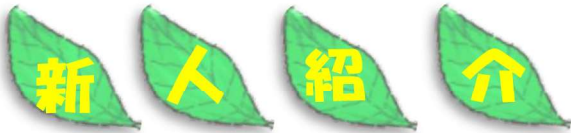
2月2日（木）、2月16日（木）

◎吉田 暉 医師（神経内科）

2月9日（木）

◎加藤 喜久美 医師（内科）

当面の間、休診いたします。



せいけ はるか
清家 悠



配属部署：薬剤課

職 種：薬剤師

抱 負：一日でも早く業務に慣れるよう
頑張りますので、宜しくお願い
します。

2月3日は節分の日

節分とは、「季節を分ける」という意味があります。

鬼（邪気）を追い払って新年を迎え、無病
息災を願う行事とされています。

2023年の恵方は「南南東」です。

2023年もたくさん福を
呼んで幸せに過ごせ
ますように！！



ベテル病院 創立40周年！！

ベテル病院で働いている職員の職種は
多種にわたります。さて、何種類あるで
しょうか？

- ①5～10 種類
- ②11～15 種類
- ③16 種類以上

答えは次回の掲載までお楽しみに♪



- ・投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・掲載中の写真についてはご本人様、ご家族様の許可を得ています。

発行日 2023年1月23日